

## ☆ それぞれの「学び方」



「学び方」って言うけど、みんな同じじゃないの？何が違うの？

### 自分の学習スタイル\*<sup>1</sup>をチェックしてみましょう！

自分が当てはまる所にチェックしてください。当てはまった項目数が多いところが、自分の「学び方」である場合があります。\*あくまでも参考です。

#### タイプ A

- 静かなところで勉強するのが好き。
- 何回も詳しく書いて覚える方だ。
- 文章をじっくり読んで内容を理解するのが好き。
- 見直しはしっかりする。
- ノートはきっちりと書き、分かりやすいと言われる。



#### タイプ B

- 音声学習で英単語などを効果的に覚えられる方だ。
- 本を読むより、セミナーに出席した方が理解できる。
- 初対面の方は、顔より話した内容をよく覚えている。
- メールより電話が好き。
- 電化製品の使い方は、説明書を読むより、人に教えてもらった方が覚えられる。



#### タイプ C

- 体を動かしながらの方が、暗記できる。
- 音楽やラジオを聞きながら勉強するのが好き。
- 音楽を聴くと、自然に体が動く。
- なんでも自分でやってみないと気がすまない。
- 電化製品など、説明書はよく読まず、直接動かしてみる。



参考：高山恵子・品川裕香『LD・ADHD・アスペルガー症候群 気になる子がぐんぐん伸びる授業』小学館（2006）

### チェックしたら、近くの人と見合ってみましょう！

\* 1 学習スタイルについては、様々な視点から考えることができ、このページで紹介しているのは、あくまでも一例です。

【どのタイプに多くチェックが付きましたか？】

チェックが多かったタイプは、次のような特徴があるとされています。

\*あくまでも参考です。

タイプ A→視覚型	タイプ B→聴覚型	タイプ C→体得型
目で見えて情報を理解したり覚えたりするのが得意	耳で聞いて情報を理解したり覚えたりするのが得意	実際に体を動かして理解したり覚えたりするのが得意
支援方法例	支援方法例	支援方法例
<input type="checkbox"/> 簡単な言葉で簡潔に、ゆっくり、はっきり伝える。 <input type="checkbox"/> 絵や図、見本を示して伝える。 <input type="checkbox"/> 手本を見せる。	<input type="checkbox"/> 言葉で説明を加える。 <input type="checkbox"/> 一つずつ順番に話す。 <input type="checkbox"/> 覚えることは、しっかりと意味づけをする。	<input type="checkbox"/> 簡単な言葉で、分かりやすく伝える。 <input type="checkbox"/> 具体物を使用する。 <input type="checkbox"/> 手本を見せ体験させてみる。

参考：高山恵子・品川裕香『LD・ADHD・アスペルガー症候群 気になる子がぐんぐん伸びる授業』小学館（2006）



同じ質問項目でも、タイプがいろいろと分かれたと思います。それだけ、人によって学び方が違うことをまず認識することが大切です。

【自分の学び方を相手に求めてしまった失敗例から考える】



聴覚型のA君

「とりあえず、やってみると覚えるよ。」



体得型の先生

やり方を一つずつ順番に、繰り返し教えてくれないと、僕は分からないなあ。

A君が力を最大限に発揮できるのは、どのような学び方でしょうか。



教師が、自分の成功体験（学び方）が良いと思って、相手に合わない学び方で働きかけてしまうことがあります。児童生徒にとって、学び方を選ぶことができ、自分なりの方法を使ってアプローチし、考えることができる授業\*<sup>2</sup>が大切です。

参考：青木清『脳と行動—ニューエソロジー』朝倉書店（1986）

\* 2 詳しい実践例は第Ⅱ章－１（３）⑧『「学び方」を選ぶ学習の実践例』（64p）をご覧ください。